

文化財めぐり

郷土の歴史・文化を学ぶ



6月22日、船引地方史研究会主催（柳沼照栄会長）の文化財めぐりが行われ、会員18人と大越地方史研究会会員6人が参加しました。参加者は大越町と滝根町の寺社仏閣など15カ所を訪れ、研さんを深めました。

会員からは「身近の歴史ある文化財に触れて、いにしえからの人の営み、文化財保存の大切さを改めて学んだ」といった声が聞かれ、参加者同士で意見の交換をしていました。3年にわたる文化財めぐりも今回が最終回となりますが、会員はさらなる研究を誓っていました。

滝根 子どもスポーツ教室

カローリングを楽しく学ぶ

7月10日、子どもスポーツ教室が滝根体育館で開かれ、小学1年生から6年生までの児童19人がカローリング（※）に挑戦しました。滝根いきいきクラブの横田幸一さんと草野和司さんを講師に招き、プレーの仕方を教わった後、チーム対抗試合を行いました。参加者からは「初めてのスポーツだったが、楽しかった」といった声が聞かれました。

※カローリング…氷上ではなく室内でカーリングができるように考案されたスポーツ。



市に仙台国税局から感謝状

今年1月から、所得税等の確定申告書をe-TAXで税務署に提出できるようになりました。田村市では、市民の皆さんのご協力により、受け付けた申告書の86%を税務署に引き継ぐことができました。これは東北でトップのデータ連携率となります。

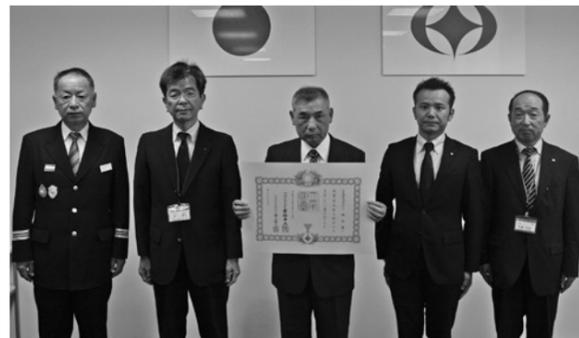
それを受けて、6月22日に仙台国税局総務部長が市役所を訪れ、本田市長に感謝状を手渡しました。

市では申告事務の効率化のため、今後も申告書のデータ連携を行ってまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



春の叙勲

三瓶金壽さんに瑞宝単光章



6月30日、平成29年春の叙勲「瑞宝単光章」の伝達が市役所で行われ、元船引町消防団副団長の三瓶金壽さん（船引町大倉、写真中央）に、福島県県中地方振興局長から勲記と勲章が手渡されました。

三瓶さんは昭和43年4月1日に船引町消防団に入団し、平成11年4月2日に副団長を拝命すると、平成15年4月1日まで務めました。地域の安全と安心のため、長年にわたって消防団活動に励んだ功績がたたえられ、今回の受章となりました。

都路グリーンパーク杯ソフトボール大会 歓声を上げてプレー



6月25日、田村市都路グリーンパーク杯争奪スポーツ少年団ソフトボール大会（田村市スポーツ少年団都路支部主催）が都路運動場で開かれ、県内から参加した24チームが、行司ヶ滝ブロックと五十人山ブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。参加した子どもたちは、歓声を上げながら全力でプレーしていました。

なお、市内では、古道スポーツ少年団が行司ヶ滝ブロックで準優勝に輝きました。（写真）

エゴマ生産振興協議会 栽培勉強会を開催

6月30日、エゴマ栽培勉強会が遠山沢地内の畑で開かれ、田村市エゴマ生産振興協議会の会員6人が参加しました。今回の勉強会では、半自動移植機を使って実際に定植作業を行い、手作業との違いを比べました。

また、「会津美里町東尾岐地区えごま栽培研究会」の会員20人が視察に訪れ、エゴマの栽培方法などについて質疑応答を交わして、互いに交流を深めました。



常葉 寿学級 夏の星空と花を観察



7月3日、寿学級の第2回学習会が行われ、20人が参加しました。午前中は星の村天文台で夏の星空の観察をした後、午後から郡山市の四季の里緑水苑を訪れ、3万坪もの庭園の池に満開に咲くアジサイやバラを、ゆっくりと歩きながら観察しました。朝からあいにくの雨でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。

船引町更生保護女性会 子どもたちにあいさつを啓発

7月3日・4日・6日の3日間、田村市船引町更生保護女性会（三浦ゆき子会長）の会員38人が、「社会を明るくする運動」の一環として、市内の小学校などで「朝のあいさつ運動」を行いました。会員は、登校・登園する子どもたちにあいさつを交わしながら啓発物を手渡し、犯罪や非行防止を呼びかけました。（写真：7月4日 船引小学校）

